

地域再生プロジェクトの実施結果調書

市町村名

上砂川町

1 地域再生プロジェクト実施結果（プロジェクト全体）

（ 3年計画のうち 1年目）

実施地域	市町村名： 上砂川町 民間団体名： 頑張るかみすながわサポート会議	計 1 市町村 1 団体
プロジェクト名： 移住定住促進プロジェクト		格差の分野： 社会構造の格差
地域の課題及び 地域再生プロジェクト の目標	<p>◆ 地域の課題 唯一の基幹産業であった炭鉱の閉山後、高齢化の進行と雇用の喪失による人口減少が進み、町民の購買力が低下している。</p> <p>◆ プロジェクトの目標 医療、子育て支援など住みよく安心できる環境を整備し、あらゆる世代に移住定住を働きかけ人口減少に歯止めをかけ、地域の活性化を図る。</p>	
取組の成果	<p>住民等の評価 移住定住 PR 事業や移住定住体験ツアー招待事業など、これまでにない事業に取り組んだことにより、移住候補地としての上砂川町を効果的に PR することができた。また、町内居住者にとっても子育て環境の充実が図られており、特に子供を育てる若い世代には上砂川町に住み続けたいと思う環境が整いつつある。</p> <p>計画に対する達成度 ・ 上砂川町移住定住促進 PR 事業については予定していた東京・大阪の他、福井で移住説明会を実施し合計 220 名に町の概要を PR した。 ・ 移住定住体験ツアー招待事業については合計 14 名を上砂川町に招待し、上砂川の良さを体験してもらった。 ・ 小学生以下医療費助成事業については当初見込み 385 千円の助成であったが延べ 195 件に対し 442 千円を助成した。 ・ 子育て支援事業については保育園において月 1 回ペースで各種事業を実施し、延べ 246 人の親子が参加した。 ・ 高規格救急車用 AED 整備事業については計画どおり、救急車に AED を整備した。 ・ 子どもたちの自主性と創造性を育むプログラムについては小学校で民族歌舞団、中学校で「ハート音楽院」アンサンブル楽団の公演の鑑賞会を実施した。</p> <p>以上、3 年計画の初年度分については計画に基づき十分達成することができた。</p> <p>具体的な効果 東京、大阪等での PR 活動により移住候補地としての上砂川町の知名度を上げることができた。また、小学生以下の医療費助成等により子育て環境の充実により若い世代が将来にわたり住みやすい環境が整えられた。</p> <p>交付金支援期間終了時の成果目標に対する現時点での達成状況 ・ 人口減少率 <目標> H7→H17 減少率 Δ18.49% → H12→H22 減少率 Δ10% H19 年間減少率 Δ3.2%→H20 年間減少率 Δ2.9% (0.3%回復) ・ 高齢化率 <目標> H17 37.84% → H22 35.0% H20 高齢化率 40.97%</p>	

プロジェクト推進上の課題・問題点	<p>課題点等</p> <p>PR 事業、移住定住ツアー招待事業などを通じて上砂川町の良さは理解してもらえたものの、最終的な目標である移住者の獲得に結びついていない。また、東京・福井の参加者については北海道を移住候補地として捉えているが大阪の参加者については北海道からの距離など、地理的な条件もあり現実的な移住先として捉えていない傾向にある。</p> <p>小学生以下医療費助成事業や子育て支援事業については住民の満足度が高いことから、特に子育て支援事業について対象者のニーズを見極め、サービスの拡充を図る必要がある。</p> <p>課題を踏まえた今後の展開</p> <p>上砂川町移住定住促進 PR 事業については説明会を実施する地域について再度検討するとともに、移住定住ツアー招待事業については無料招待から来町に係る経費の一部を助成する形に改める。その他の事業についても本年度実施した各種事業参加者からの意見を分析した上で移住候補地としてふさわしい環境を模索し、さらなる PR 活動や定住関連事業を推進する。</p>
------------------	--

2 地域再生プロジェクト構成事業（今年度実施分）

（1）実績額について

（単位：千円）

No	事業名	事業費	財源内訳					交付金要望額
	実施主体		国の支援制度	道の支援制度	市町村補助等	自己財源	その他	
	実施年度							
1	上砂川町移住定住促進PR事業	(6,696)	()	()	()	(6,696)	()	(6,807)
	町、頑張るかみすながわサポート会議 平成20年度～平成22年度	2,364				2,364		2,269
2	移住定住ツアー招待事業	(3,514)	()	()	()	(3,514)	()	(3,096)
	町、頑張るかみすながわサポート会議 平成20年度～平成22年度	1,076				1,076		1,032
3	小学生以下医療費助成事業	(1,212)	()	()	()	(1,212)	()	(1,272)
	町 平成20年度～平成22年度	442				442		424
4	子育て支援事業	(531)	()	()	()	(531)	()	(630)
	町 平成20年度～平成22年度	219				219		210
5	高規格救急車用AED整備事業	(1,943)	()	()	()	(1,943)	()	(0)
	町 平成20年度～平成20年度	1,943				1,943		0
6	子どもたちの自主性と創造性を育むプログラム	(1,140)	()	()	()	(1,140)	()	(1,095)
	町 平成20年度～平成22年度	380				380		365
7	年度～年度	()	()	()	()	()	()	()
計	事業数 [6]	(15,036)	()	()	()	(15,036)	()	(12,900)
	実施主体数 [2]	6,424				6,424		4,300

- 注 1 プロジェクトを構成する全事業の実績について記載すること。
 2 記載に当たっては、別記第2号様式に準じること。

(2) 実施内容について

No	事業名	計画内容	実施状況	効果・課題	今後の展開
1	上砂川町移住定住促進PR事業	東京、大阪等において移住PRチラシを配布するとともに町の概況等簡単な説明を行う。	福井(8月)東京(9月)、大阪(10月)、において移住説明会を開催し合計220名に上砂川町の概要について説明するとともにチラシや町勢要覧等を配布し、PR活動に取り組んだ。	PR先の移住希望者に対して上砂川町の良さをPRするとともに町の知名度を上げることができた。一方で具体的な移住者獲得に直接結びつかなかった。	説明会の実施地区の見直しやPR手段について効果的な方法を再検討するなど、内容の見直しを図りながら継続する。
2	移住定住ツアー招待事業	上砂川町の魅力を体験してもらうために移住体験ツアーに若干名を無料で招待。	上砂川町の魅力を体験してもらうために移住体験ツアーを開催し10月に福井から4名、2月に東京、大阪からの5組10名の合計14名を無料招待し、住民との交流会やそば打ち体験など各種プログラムを体験してもらった。	移住に不安を覚える移住希望者に対し上砂川町を理解する機会を提供することができた。また、2次的な効果としてふるさと納税の申し入れが数件あった。一方で移住者獲得に直接結びつかなかった。	参加者がある程度移住を具体的に検討している人に限定するために有料ツアー助成として継続実施する。
3	小学生以下医療費助成事業	小学生以下の医療費について町内の医療機関に限り、自己負担分を助成。	小学生以下の医療費について町内の医療機関に限り、自己負担分を助成した。(延べ195件、442千円)	小学生以下の医療費を助成し、自己負担をなくすことにより、安心して子育てに取り組める環境を整え、住民が安心して住み続けられる環境が提供できた。	住民が安心して住み続けられる環境が提供でき、住民の満足度が高いことから継続する。
4	子育て支援事業	家庭で子育てする孤立しがちな親子のために保育園を利用して育児相談や親子で遊べる場を提供。	家庭で子育てする孤立しがちな親子のために保育園を利用して育児相談や親子で遊べる場を提供した。(年間12回実施、延べ246名参加)	延べ246人の保護者と子供が参加し、保護者や子供の交流の場が確保された。一方で参加者が固定されてきた。	交流の場として効果的であったので今後は保育園だけでなく、公民館も活用して内容の充実を図り、継続する。
5	高規格救急車用AED整備事業	高規格救急車搭載のAEDを更新する。	高規格救急車搭載のAEDを更新した。	高規格救急車搭載のAEDを更新したことにより、町民の緊急時に確実に対応できる環境が整えられ、住民が安心して住み続けられる環境が提供できた。	住民が安心して住み続けられる環境が整えられたことから完了とする。
6	子どもたちの自主性と創造性を育むプログラム	子どもたちの企画により芸術鑑賞会を実施。	子どもたちの企画により芸術鑑賞会を実施した。 小学校 9月10日民族歌舞団こぶし座 鑑賞者数児童180名、保護者20名 中学校 11月7日「ハート音楽院」アンサンブル楽団 鑑賞者数生徒90名、一般10人	児童生徒の要望を踏まえ、町内や近隣市町で触れられない演劇や音楽に直接触れる機会を確保することにより、充実した教育プログラムを提供することができた。	普段触れることのできない演劇や音楽など充実した教育プログラムに対する児童生徒・保護者の満足度が高いことから継続する。
7					

注 1 (1)に記載した番号に対応する事業について、単年度の状況及び効果や課題を踏まえた今後の事業展開を記載すること。